

## 平成28年度第6回理事会議事録

1. 期 日 平成 29 年 1 月 21 日 (土)10 時から 16 時 00 分まで

2. 会 場 青森市民病院 3 階大会議室

| 参加者 | 総数 | 参加率% |
|-----|----|------|
| 9   | 15 | 60%  |

|      |      |      |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 船水憲一 | 佐藤兼也 | 森脇公洋 | 福士正広 | 成田将崇 | 石倉牧人 | 川村匡敦 | 西村秀行 |
| ○    | ○    | ×    | ○    | ○    | ×    | ○    | ○    |

|      |      |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|------|------|
| 片岡郁美 | 三浦隆司 | 澤橋政美 | 岩瀧昌善 | 須崎勝正 | 小澤友昭 | 大湯和彦 |
| ×    | ×    | ○    | ○    | ○    | ×    | ×    |

|    |      |      |
|----|------|------|
| 監事 | 稲葉孝典 | 工藤亮裕 |
|    | ○    | ○    |

船水会長が議長を務め、議事録作成人に川村理事、議事録署名人に岩瀧理事を指名し理事会を開催した。

3. 内 容

### 【報告 1】 統一講習会（八戸） （報告 西村）

- 業務拡大に伴う統一講習会（東北地域：青森県/八戸市民病院）  
平成 29 年 1 月 14 日（土）8：40～1 月 15 日（日）17：20  
開催責任者：西村 秀行、会場責任者：福士 正広  
実習指導者：西村 秀行、小澤 友昭、川又 渉、石倉 牧人  
スタッフ：福士 正広、澤橋 政美、川村 匡敦  
参加者 25 名、欠席 1 名、遅刻者、早退者なし。  
統一講習会申込受講料払込み後、所用にて当日受講出来ない場合返金等不可であるが、半年など猶予期間を設けて近々開催される北東北の統一講習会を受講出来るシステムの再構築が必要と思われた。
- 事業報告等に係る提出書の作成に関する説明会（青森県庁）  
平成 28 年 12 月 13 日（火）13：00～16：00  
参加者：船水 憲一、佐藤 兼也、森脇 公洋  
説明者 青森県総務部総務学事課 法規グループ 主幹 飛内 健

参加者 30 名

### 3. 平成 28 年度青森県第 1 回及び第 2 回原子力災害医療対応基礎研修会

第 1 回基礎研修会 日時:平成 28 年 12 月 2 日（金）14 時 30 分から 17 時 30 分  
場所:アピオあおもり（青森市）  
参加者 船水 憲一、佐藤 兼也

## 内容

司会 青森立中央病院 救命救急センター長 花田裕之

挨拶 主催者代表：青森県病院事業管理者 吉田 茂昭

### 記念講演

「わが国の被ばく医療 ～来し方、行く末～」東京大学名誉教授 東明会原田病院 前川 和彦 氏  
講演

「弘前大学の取り組み ～ 汚染被ばく患者の診療のあるべき姿そして今後、拠点病院に求めるもの～」弘前大学 副学長(被ばく医療、COI 担当)放射線安全総合支援センター長 柏倉 幾郎 氏  
50名ほどの参加

第2回基礎研修会 日時:平成28年12月19日(月)14時00分から17時00分

場所:公済会館(むつ市)

参加者 船水 憲一、稲葉孝典、森脇公洋

内容 青森立中央病院 救命救急センター長 花田裕之

### 講演Ⅰ

「愛媛県における原子力災害体制の現状」愛媛県立中央病院救命救急センター長 濱見 原 氏

### 講演Ⅱ

「行動計画～立案、実施、修正～」自衛隊大湊病院長 1等海佐 清住 哲郎 氏

### 講演Ⅰ

1. 愛媛県では放射線科医師の協力は得られず、診療放射線技師が協力している(県病医師質問)
2. 避難体制はほとんど決まっていない

### 講演Ⅱ

行動計画は大変分かりやすく、参考になりました

県職員 下北地域消防本部 東北電力 病院関係で100名以上参加。

## 【報告2】 業務拡大に伴う統一講習会の講師増員(報告 船水)

### 本部からの連絡

#### 地域理事の皆様

統一講習会実施運営委員会 北村秀秋です。

統一講習会では大変お手数をおかけしております。

平成28年度教育委員幹事会では、多くのご意見ありがとうございます。

地域の皆様より実習指導者が不足しており、統一講習会が多く実施できないとのご意見がございました。

平成29年度も10,000名の受講者数および200開催を目標としております。

つきまして、各地域様より増員する実習指導者の希望人数を伺いたいと存じます。

北村若しくは保川専門職へ平成28年12月28日までに希望人数をご連絡ください。実習指導者講習会受講者リストについては、あらためて伺います。もし、希望人数が平成28年12月29日以降となる場合がございます。ございましたら、相談させていただきます。

また、実習指導者の質の担保より1年間に3回の統一講習会の指導をお願いしておりますので、増員しすぎてしまうと、3回の指導が難しくなる場合がございますので、実習指導者数と統一講習会数のバランスをご考慮下さい。

ご希望の実習指導者数に増員できないこともございますので予めご了承ください。その場合、当方より相談させていただきます。

また、平成29年度のご計画も全国で141開催(約8330名の募集人数)となっています。そのため、必ずしもご提出された計画の統一講習会数ではなく、各地域およそ25開催までは増加していただいても結構です。その場合あらかじめ、ご連絡いただくと本委員会も助かります。

年末につきお忙しいと存じますが、何卒宜しくお願いいたします。

当県としては、不要と回答  
東北6県、増員の希望のある県は無いようである（船水）

**【報告3】28年度 各イベント**

1月28日（土）14時00分～17時30分 弘前市 青森MRI研究会  
2月5日（日）14時00分～16時00分 弘前市 平成28年度X線CT認定技師認定試験  
2月16日（木）9時30分～16時00分 技師会事務所で 監査  
2月18日（土）15時00分～17時00分 青森市民病院 医用画像研究会（情報交換会は無し）  
3月4日（土）15時00分～17時30分 青森市民病院 上部消化管講座（情報交換会は？）  
3月5日（日）理事会 青森市民病院大会議室 10時より14時まで  
3月18日（土）15時30分～18時00分 弘前市 第5回青森乳腺診断フォーラム

**【報告4】乳がん学校進捗状況（船水）**

県委託業務の趣旨と内容に開きがあるため、今年度をもって取りやめる。

**【報告5】業務執行役員業務報告（報告 森脇）**

森脇副会長より業務執行役員の業務報告があった。  
各理事、確認を行った。

**【報告6】その他**

RABからとうりゃんせ基金の募集があったが、当会との趣旨が合わないため、見送ることとする。

**【議案1】剰余金での物品購入**

公益目的事業に活用するためのサーベイメータを購入する。

**【議案2】技師会費未納者の取扱い**

再度、会費納入を促す。

（会員資格の喪失）

定款第10条第1号に該当する資格喪失（年会費の支払義務を2年以上履行しなかったとき）

**【検討1】次年度計画に関して**

**1. 公益目的事業について**

公1：県民に対する放射線の正しい知識の普及等に関する事業

**（1）健康展における普及啓発**

県内の各市町村が主催する健康展において、県民を対象として、放射線の安全性、有益性、専門性についての解説等を行う。会場では、放射線の安全性や画像診断に利用されている放射線機器や画像に関するパネル展示やパンフレットを用いた説明を行うとともに、身近に存在する放射線（肥料や表札に利用されている石などから放出される放射線）を理解していただくために放射線測定器を使用して、体験していただくコーナーを設

置する。このほか、骨粗鬆（そしょう）症の診断の基準となる骨塩量（骨密度）を測定するため、超音波を利用した測定器（足の踵を測定）を用いて測定・結果を説明し、生活習慣の改善等を助言する。

## （2）ピンクリボンキャンペーン活動

ピンクリボン（注1）キャンペーン活動に賛同し、医療関係団体や患者会等の市民団体とともに相談、講演等を行い、乳がんの早期検診受診、早期診断、早期治療を促進するよう啓発を行う。乳がん検診に必要なマンモグラフィー（乳房エックス線撮影装置）の撮影方法、画像、放射線被ばくに関して、パネルやパンフレット等を用いて説明し、知識の普及及び啓発を行う。

## （3）原子力防災に関する事業

県が実施する青森県原子力防災訓練（緊急被ばく訓練）に参加し、県民の救護所におけるスクリーニングサーベイ（注2）を東北電力などの事業所職員、日本赤十字社職員及び保健所職員とともに実施する。この訓練は、地域住民が参加して行われ、スクリーニングサーベイは住民1名に対し会員2名で対応する。サーベイ実施中に放射線に関する質問も受ける。なお、東京電力福島原子力発電所の事故により被災された福島県民が青森県に避難された際は、青森県の要請により、東地方保健所において、避難住民に対するスクリーニングサーベイを実施した。

また一般病院から、被災された住民の受入れ方法（被ばくの測定方法や汚染された衣類の除染方法、医療機関職員の不安を取り除くための説明方法）などの相談を受け、マニュアルを作成し対応方法を指導している。このほか、医療放射線と原子力利用されている放射線との違いや、放射線測定機器の使い方等を指導する。

## （4）ホームページ

放射線に関する情報をより多くの県民や医療関係者に提供するため、ホームページを運営する。メール等により、県民からの放射線に関する相談、質問等に対応する。

## 〔2〕事業の公益性について

定款（法人の事業又は目的）上の根拠：第4条第1項第3号、第4号

県民が安心して暮らせる社会の形成に資するとともに、県民の医療及び保健の維持発展に寄与することを目的として、県民に対する放射線の正しい知識の普及等を行うものであり、「公衆衛生の向上を目的とする事業」に該当すると考える。

## 2. 個別事業の内容について

公2：診療放射線技師の資質向上に関する事業

### 〔1〕事業の概要について

日々発展する放射線の最新技術や最新情報、放射線障害防止（被ばく低減）に関する事業等を学ぶ機会を提供し、診療放射線技師等の資質を向上させ、それらで得た成果を各人が所属する医療機関等において行う放射線医療に役立てることによって、県民の健康維持・増進に貢献していきたいと考えている。また、本事業の成果は、公1に記載した事業の基礎となる学習も兼ねており、県民に分かりやすく放射線に関する情報を伝えることのできる人材育成に繋がると考えている。

本事業は、県内の診療放射線技師の資質の向上を図ることにより、画像診断技術等の向上及び県民に対する放射線に関する情報提供力の向上を図り、県民の健康の増進及び県民が安心して暮らせる地域づくりに貢献することを目的とする。

〈事業内容〉本事業は、県内の診療放射線技師を対象として、放射線に関する知識・技術の習得等に関する学術大会、講習会、研修会等を開催するものである。なお、平成28年度は、次の学術大会等を予定している。

### （1）青森県診療放射線技師学術大会

県内の診療放射線技師を対象として、会員及び医系学生による診療放射線学及び診療放射線技術の向上に関する学術発表、シンポジウム、講演等を行う。医療機器メーカーや医薬品メーカーの機器（商品）展示も行い、放射線に関する最新情報も提供してもらう。学術大会終了後、報告書を作成し、本会のホームページで公開する。

6月18日（日）弘前大学医学部保健学科で開催予定

## (2) 青森CT・MRI診断技術研究会

CT・MRIの業務に従事する診療放射線技師、診療放射線技師以外の医療従事者、医療機器メーカー、医系学生、県民を対象として、CT・MRIに関する診断と技術の向上に関する学術発表、講演等を行う。

5月27日(土) 第21回CT・MRI診断技術研究会 弘前市開催予定  
10月21日(土) 第22回CT・MRI診断技術研究会 青森市開催予定

## (3) 血管模型講習会

県内の診療放射線技師、県内各病院の脳血管、心血管治療を行う医師、看護師、臨床検査技師、臨床工学技士等を対象として、血管解剖学を理解するため、血管の解剖及び模型を作成する講習会として、冠動脈(心臓の栄養血管)及び脳血管の解剖に関する講習を行う。

第9回冠動脈 第8回脳血管 第5回腹部血管 第3回脳静脈血管模型  
10月14日(土) 青森市民病院で開催予定

## (4) 青森県放射線治療技術研究会

県内の診療放射線技師、放射線治療に携わる医療従事者、医療機器メーカー、医系学生を対象として、放射線治療に関する技術の向上に関する学術発表、講演等を行う。

10月 第32回青森県放射線治療技術研究会 弘前市開催予定

## (5) 青森県MRI研究会

MRIの業務に従事する診療放射線技師、看護師、臨床検査技師及び医療機器メーカー、医系学生を対象として、MRIに関する技術の向上に関する学術発表、講演等を行う。

平成30年1月27日 第132回青森県MRI研究会 青森市開催予定

## (6) 学術委員会研修会

県内の診療放射線技師、医療従事者、医療機器メーカー、医系学生を対象として、本会の学術委員会において、医用画像、緊急被ばく医療に関する講習会等を行う。

- ① リーダー懇談会 年1回開催
- ② 医用画像部会研修会 年2回程度
- ③ 放射線管理等に関する研修会 年2回程度
- ④ 福島災害医療セミナー in 弘前 2017 10月頃開催予定
- ⑤ 上部消化管初級講座 平成30年3月3日(土) 青森市開催予定
- ⑥ MMG撮影施設のポジショニング指導
- ⑦ 東北地区女性技師 みちのくこまちへの参画
- ⑧ チーム医療に関する研修会

多職種職能団体とチーム医療実現を念頭に交流を図ります。開催日・開催場所未定

## (7) フレッシュアップセミナー

公益社団法人日本診療放射線技師会からの委託を受けて、診療放射線技師免許取得後5年以内の診療放射線技師を対象として、診療放射線技師に必要な職業倫理、基礎技術講習等を行う。具体的には、エチケット・マナー講座、医療安全講座、感染対策講座、気管支模型講座、胸部単純写真講座等の基礎研修を行う。

6月17日(土) 弘前大学医学部保健学科で開催予定

## (8) 青森県CT研究会

CTの業務に従事する診療放射線技師及び医療機器メーカー、医系学生を対象として、CTに関する技術の向上に関する学術発表、講演等を行う。

12月2日(土) 第5回青森県CT研究会 青森市開催予定

## (9) 青森県乳腺フォーラム

乳腺の業務に従事する医師、診療放射線技師、看護師、臨床検査技師及び医療機器メーカー、医系学生を対象として、乳腺Iに関する技術の向上に関する症例検討会、学術発表、講演等を行う。

平成 30 年 3 月 第 6 回青森県乳腺フォーラム開催予定  
技師会代表幹事は、もう一年お願いする（稲葉監事）

### （10）業務拡大に伴う統一講習会

診療放射線技師の業務拡大に伴う診療放射線技師法の一部改正は（2014 年 6 月 18 日可決）、全国で働いている全ての診療放射線技師及び診療放射線技師養成教育機関に新たな教育と研修という課題を与えました。「業務拡大に伴う統一講習会」は法律改正に伴う重要な講習会であるため、厚生労働省の後援を頂き、JART が修了者番号籍を管理することとしています。

平成 28 年度事業計画で以下補足説明（県指摘）

診療放射線技師の業務拡大については、平成 23 年 12 月 22 日、厚生労働省の社会保障審議会医療部会で取りまとめられたところである。

1) CT、MRI 検査時の自動造影剤注入装置による造影剤の投与、検査終了時の抜針・止血

2) 下部消化管におけるネラトン チューブの挿入、造影剤・空気等の注入

さらに、検査に関連する行為を実施する場合の条件として、「教育内容等の見直し」が求められ、以下の 2 点が示された。

1) 関係法令・通知などを改正し、検査等関連行為を安全かつ適切に行うために必要な教育内容を現行の教育内容に配慮しつつ追加する必要がある。

2) 既に診療放射線技師の資格を取得しているものについて、医療現場において検査等関連行為を実施する際には、医療機関や職能団体等が実施する教育・研修を受けるよう促すことで教育内容を担保する必要がある。

本会が、公益社団法人への移行を目指して検討を進めていた時期には、医療従事者の業務範囲の見直しの検討も既に行われていたことから、業務範囲が拡大された場合への対応（上記 2）についても、当然、当会の公益目的事業の内容に含める方向で考えていた。これらの診療放射線技師法改正については、医療と介護の一括法案として、平成 26 年 2 月 12 日に第 186 回通常国会に提出されるに至ったものである（施行期日 平成 27 年 4 月 1 日）。研修は都道府県技師会開催で平成 27 年度から実施できる体制となった。

- ① 4 月 29 日（土）30 日（日） 青森市民病院で開催予定
- ② 6 月 3 日（土）4 日（日） 弘前大学医学部附属病院で開催予定

※ 12 月に実施したアンケートで今後講習会参加予定者は 30 名であったので、上記開催回数で十分と思われる。

## 〔2〕事業の公益性について

定款（法人の事業又は目的）上の根拠：第 4 条第 1 項第 1 号～第 4 号

県内の診療放射線技師の資質の向上を図ることにより、画像診断技術等の向上及び県民に対する放射線に関する情報提供力の向上を図り、県民の健康の増進及び県民が安心して暮らせる地域づくりに貢献することを目的として、放射線に関する知識・技術の習得等に関する学術大会、講習会、研修会等を開催するものであり、「公衆衛生の向上を目的とする事業」に該当すると考える

## 3. その他の事業（相互扶助等事業）について

定款（法人の事業又は目的）上の根拠：第 4 条第 1 項第 5 号  
他 1：会員相互扶助事業

〔事業の内容〕

- (1) 会員に対する傷害保険として損害保険会社と契約する。
- (2) 会員本人が死亡した際に、弔電又は供花を行う。

①2017年6月17日、18日

公益社団法人青森県診療放射線技師会 学術大会、  
定時総会、  
フレッシューズセミナー、例年通り  
リーダー研修会、  
情報交換会 生協で  
機器展示 スペース、電源？  
賛助会発表会 例年通り  
特別講演 よろず相談と県内の原子力防災訓練への参加で思うところ  
(診療放射線技師への期待)をお話  
弘前大学保健学科、第61, 62, 63 講義室

#### 【検討2】次年度事業計画の希望

留意点：定款（事業計画及び収支予算）

第37条 本会の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類については、  
毎事業年度開始の日の前日までに、会長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。  
これを変更する場合も、同様とする。

2 前項の書類は、主たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(1)「来事業年度に新たな事業を始める計画がありますか？ その事業は定款や公益認定（移行認定）申請書に明記されていますか？」

⇒ 定款にない事業を新たに実施するには、定款の変更と変更認定申請の両方が必要です。

⇒ 公益認定（移行認定）申請書にない新たな事業を実施するには、変更認定申請が必要です。事業を廃止する場合も、同様に変更認定申請が必要です。

⇒ 事業の変更には、機関決定をした上での申請が必要になりますので、計画的な運営に努めてください。

#### 【検討3】次年度予算案

【検討4】29・30年度JART代議員の候補者についての確認

代議員候補者：船水会長、森脇副会長 補欠代議員候補者：佐藤副会長

【検討4】選挙管理委員の継続と選挙管理委員長を選任

現委員の再任用の意思の確認と補充を行い、その後委員長の選任を行う

#### 【検討5】

その他

- 統一講習会スタッフ兼任  
北東北では、あり得ないため、検討不要
- 健康祭り  
工藤監事、成田理事に健康祭りの説明会に出席していただき、その資料を基に検討する。
- 東北放射線医療技術学術大会について  
ホームページの立ち上げ、口座開設を急ぐ
- 電子申請  
次回の検討とする。

以上

本書は議事録に相違ない。

平成 29 年 1 月 26 日

青森市安方二丁目 17 番 15-802 号  
ライオンズマンション新町通  
公益社団法人 青森県診療放射線技師会

議事録作成人 西 村 秀 行

議事録署名人 岩 瀧 昌 善

代表理事 船 水 憲 一

監事 稲 葉 孝 典

監事 工 藤 亮 裕